

第71回VERA祭企画(第13回公開研究会)

明治の「新しい女」

小檜山ルイ氏著『明治の「新しい女」—佐々城豊寿と娘・信子』
(勁草書房、2023年)合評会

登壇者

著者:小檜山ルイ 氏

(フェリス女学院大学学長)

評者:森本あんり 氏

(東京女子大学学長)

神林尚子 氏

(大妻女子大学准教授)



とき:2024年11月9日(土) 10:00~12:00

ところ:東京女子大学 6号館6112教室

対面・配信同時開催

(オンラインでの参加をご希望の方のみ事前申込をお願いしております)

東京女子大学VERA祭実行委員会
丸山眞男記念比較思想研究センター

共催

〒167-8585東京都杉並区善福寺2-6-1

TEL:03-5382-6817 FAX:03-5382-6120

MAIL:maruyamabunko@gr.twcu.ac.jp

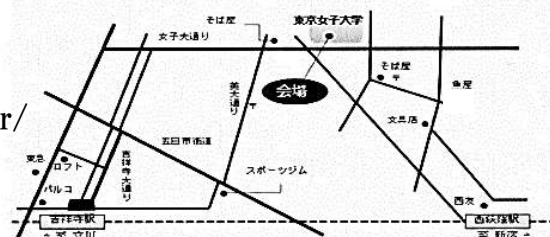
HP:<http://office.twcu.ac.jp/univ/research/institute/maruyama-center/>

*事務取扱時間:水・木・金曜日(10:30~16:30)

○アクセス

●JR西荻窪駅北口より徒歩約12分

●西荻窪駅北口または吉祥寺駅行きバス吉祥寺駅北口より西荻窪駅行バス「東京女子大前」下車



概要

今年度の公開研究会はVERA祭(学園祭)の企画として開催いたします。明治を生きた女性二代の波乱万丈の人生を活写した本書を通じて、近代日本におけるキリスト教信仰とジェンダーについて、2名の評者をお招きして論じていただきます。

登壇者

小檜山レイ(こひやま・るい)氏

専門は女性史・ジェンダー史・日米関係史。国際基督教大学大学院比較文化研究科修了後、東京女子大学現代教養学部教授を経て、現在はフェリス女学院大学学長。著書に『アメリカ婦人宣教師—来日の背景とその影響』(東京大学出版会、1992 青山なを賞、キリスト教史学会学術奨励賞受賞)、『帝国の福音—ルーシー・ビーボディとアメリカの海外伝道』(東京大学出版会2019 アメリカ学会中原伸之賞受賞)、共著に『帝国と学校』(昭和堂、2007)、『アメリカの歴史と文化』(放送大学教育振興会、2008)、『モダンガールと植民地的近代』(岩波書店、2010)、『近代日本のキリスト教と女子教育』(教文館、2016)、『近現代日本思想史「知」の巨人100人の200冊』(平凡社、2023)など。

森本あんり(もりもと・あんり)氏

専門は神学・キリスト教史。プリンストン神学大学院修了(組織神学)。国際基督教大学牧師、教授を経て現在は東京女子大学学長。著書に『ジョナサン・エドワーズ研究—アメリカ・ピューリタニズムの存在論と救済論』(創文社、1996、第一回アメリカ学会清水博賞受賞)、『アメリカ・キリスト教史—理念によって建てられた国の軌跡』(新教出版社、2006)、『アメリカ的理念の身体—寛容と良心・政教分離・信教の自由をめぐる歴史的实验の軌跡』(創文社、2012)、『反知性主義—アメリカが生んだ「熱病」の正体』(新潮社、2015)、『異端の時代—正統のかたちを求めて』(岩波書店、2018)、『不寛容論—アメリカが生んだ「共存」の哲学』(新潮社、2020)など。

神林尚子(かんばんやし・なおこ)氏

専門は日本近世文学、特に幕末・明治期の戯作と話芸について、同時代の世相との関わりを含めて研究。東京大学大学院総合文化研究科修了。鶴見大学文学部を経て、現在は大妻女子大学文学部准教授。著書に『幕末・明治期の巷談と俗文芸—女盗賊・如来の化身・烈女』(花鳥社、2023年)。このほか、共著書として、矢内賢二編『芸術教養シリーズ10日本の芸術史 文学上演篇II 近世から開化期の芸能と文学』(京都造形芸術大学 東北芸術工科大学出版局 芸術学舎発行、幻冬舎発売、2014年)、矢内賢二編『明治、このフシギな時代 3』(新典社、2018年)など。

お申し込み方法

・遠隔参加(Microsoft Teams利用)される方は、左下のQRコードもしくは
<https://forms.gle/gFAU4bsKgjQ88Bzk6>

よりGoogleフォームでお申し込みください(対面参加は申込不要)

・第71回VERA祭ホームページへは右下のQRコードからアクセスしてください。

申込フォーム



VERA祭ホームページ

